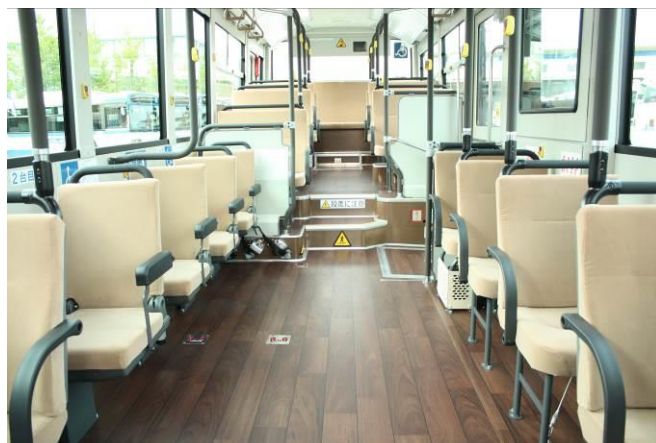


2017年9月14日

京成バス株式会社

乗車定員を大幅に増加、快適性とバリアフリー性を向上
環七シャトルバス『シャトル☆セブン』
新型車両の運行を開始します
 9月18日(月)より運行開始！

京成バス(本社:千葉県市川市、社長:齋藤 隆)は、小岩駅・亀有駅と「東京ディズニーリゾート」を結ぶ路線バス『環七シャトルバス(愛称:シャトル☆セブン)』の専用車両9両を導入し、9月18日(月)から運行を開始します。



環七シャトルバス『シャトル☆セブン』の新型車両

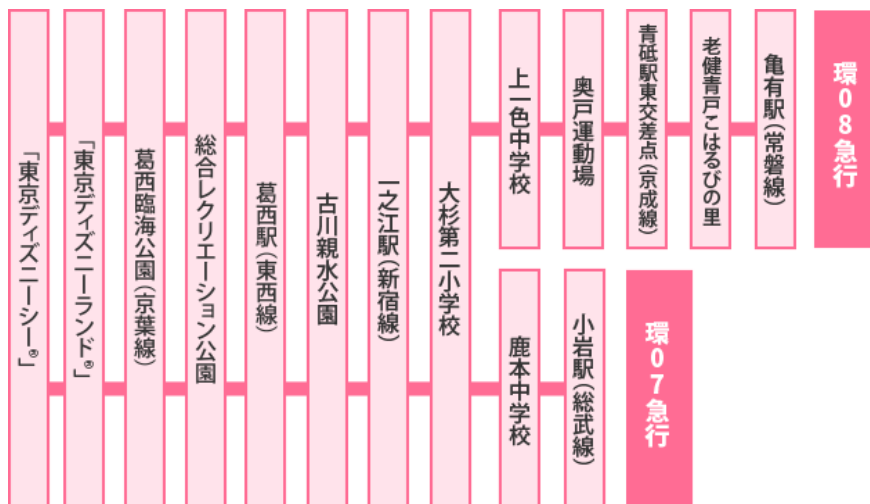
今回導入する新型車両は、より多くのお客様にご乗車いただけるよう定員86名の「長尺車両」(連節バスを除く路線バスの中で最も定員が多い車種)を採用し、従来よりも8~14名定員を増加しました。設備面では、車椅子のお客様の乗車時間短縮のため、素早く設置可能な「反転式スロープ板」(床内蔵)を採用し、車内には車椅子をスムーズに固定できる「自動巻き取り固定ベルト」を導入するなど、バリアフリー性の向上を図っています。また、車外では行き先の視認性を高めるために「カラー行先表示器」を導入しています。

デザイン面では『シャトル☆セブン』のイメージカラー(ピンク)を残しつつ、沿線風景との調和を意識して、外観・内装ともにシックなデザインとしています。

環七シャトルバス『シャトル☆セブン』の新型車両について

1. 運行開始日 2017年9月18日(月)

2. 運行路線 環七シャトル線 (小岩駅・亀有駅～「東京ディズニーリゾート」)



3. 車種 いすゞ製 大型ノンステップバス (全長 11.13m×幅 2.48m×高さ 3.04m)

4. 定員 86名 (座席 29名+立席 56名+乗務員 1名) ※従来より 8~14名定員増加

5. 特徴
- ・ 連節バスを除く路線バスの中で最も定員の多い長尺車両を採用
 - ・ 混雑時でもスムーズに乗降できるようノンステップエリアを拡大
 - ・ 床に内蔵された「反転式スロープ板」を採用し、スロープの設置時間を早めることで車椅子の方の乗車にかかる時間を短縮。また、車内の車椅子固定ベルトを「自動巻き取り式」とし、車椅子の固定にかかる時間も短縮
 - ・ 行先の視認性向上を図るため「カラー行先表示器」を導入

